



きぼうのいずみ

蘇原第二小学校
学校だより
第9号
令和4年12月24日

実りある後期前半でした

後期前半（8月29日～12月24日）が終わり、いよいよ冬休みを迎えます。この後期前半は、それぞれの学年の行事があり、子ども達は大きく成長しました。1年生は生活科の「秋みつけ」、2年生は生活科の「うごくおもちゃ」作り、3年生は、総合の「町たんけん」、4、5年生は、宿泊研修、6年生は、修学旅行、コスモスは総合の野菜づくりなどを通して、仲間とともに学ぶ楽しさや協力することの大切さを実感できたことと思います。後期前半で身に付けた力を後期後半でさらに伸ばし、それぞれの学年のまとめをきちんと行っていきたいと思っています。

ボランティアがんばっています

各務原市では、「豊かな心と健やかな体の育成」のためにボランティア活動を指導の重点施策としています。本校の子ども達は、ボランティアに対する意識が高く、朝から自主的に学校や仲間のためにボランティア活動をしている姿を見かけます。下の写真は、朝のボランティアの様子です。左の2枚は、落ち葉を掃いて集めている場面、3枚目は、階段掃除の場面、4枚目は、朝の窓開けの場面です。写真は一部ですが、その他、いろいろな場所で掃除をしていたり、窓の開け閉めをしていたりと学校で生活する人が気持ちよく過ごせるように子ども達は、自分からボランティアをしています。



左の写真の「ボランティア手帳」に子ども達は、自分ができたボランティアの記録を記入し、1冊（50回）を達成したらその手帳を職員室へ提出します。すると、右の写真にあるようにピンクのハートの紙にその子（達成した子）の名前

を書いて、この「ボランティアありがとう」の掲示に貼っています。今では、ハートがいっぱいになりました。

現在、ボランティア手帳13冊目に入っている子もいて、4月から600回以上のボランティアを行ったことになります。ボランティアは、無理強いするものではありません。自分から困っている人や地域や社会のために自らすすんで行う活動です。自分からすすんでボランティアをしてくれている子ども達の温かい心に日々感謝しながら、これからも周りのことを考えて行動できる子を育てていきたいと思っています。

冬休みは、ご家庭で「大掃除」をされるかと思っています。子ども達が家族の一員としてすすんでお手伝いができることを期待したいと思います。

後期前半において、学校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございました。よいお年をお迎えください。